

朝日新聞

THE ASAHI SHIMBUN DIGITAL

魂の中小企業〉名刺のパワー、あなどる
どるなかれ

2011年9月20日 10時15分



鎌田恭幸さん（左）と新井和宏さん



阿部晋也さん。「このバナナの繊維から、こんな名刺をつくります」

■ 中島隆（中小企業専門記者）

戦争、テロ、暴動、世界的な企業の破綻（はたん）。最近では、ギリシャの財政危機、アメリカ国債の行くえ。

すべてが、株価や外国為替市場をゆるがす。地球がまわっているかぎり、金融の世界は眠らない。

新井和宏（43）は3年前まで、日系の信託銀行や外資系の資産運用会社ではたらいてきた。株や為替の動きをにらむ日々。ちょっとした失敗、たとえば睡眠不足や疲れから判断が鈍ったり、システムを動かす際にミスをしたりすれば、何百億円もの利益が飛んでしまう。

だから、新井は決めていた。（どんなに忙しくても、1日8時間は寝るぞ）

だが、現実には許してくれなかった。東京市場がおわっても、シンガポール、ロンドン、ニューヨークと、マーケットは開き続ける。プレッシャーに眠れない日々がつ

づく。

マネーの世界に身を投じて15年たった2007年夏ごろ、ストレス性の病になった。手や足にかゆみが出る。我慢できずに、かきむしる。血がでる、うむ。かゆくて眠れず、またかきむしる。足が血だらけになるので、靴下がはけなくなる……。発症から1年あまりたった2008年9月、外資系の会社をやめた。

新井が会社を辞する少しまえ、同じ外資系金融グループ傘下の信託銀行で副社長をしていた鎌田恭幸（46）も、やめていた。年金などの資産運用